

不屈

東京都本部

「不屈」No.584

東京版No.485

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

〒113-0034

東京都文京区湯島2-7-8

労音お茶の水ビル1F

電話 03(6240)0283

FAX 03(6240)0284

振替 00100-5-99628

E-Mail tokyo-chian@bz04.plala.or.jp



「敵基地攻撃能力は戦争への道」と吉田会長 (1月30日 JR御茶ノ水駅前)

「軍拡・増税NO！」 草の根から声をあげよう

会長 吉田 万三

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する。
- 二、国は、戦前の治安維持法が人道に反する悪法であると認めること。
- 三、国は、治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償を行うこと。

年が明け早くも1カ月が過ぎた。コロナも丸3年であり慣れてきたが、街を歩くと救急車によく会うのは、第8波が続いているからだ。今年は一斉地方選挙の年で、総選挙もあるのでは、と言われている。日本の進路を危うくする大軍拡・大増税をめぐって、気を許すことのできない1年になる。

一方、庶民の暮らしは、毎日の肉・魚・野菜などの食料品をはじめとした諸物価の高騰にみまわれ、医療やサービス業をはじめとする店舗・事業所などでも電気料金等の大幅値上げラッシュが経営を直撃している。軍備拡大大や国会のニュースはサラッと聞き流している人も、この諸物価の高騰と生活への影響はひしひしと実感しているはずである。

「私たちの税金を使うなら、武器を買い込むより、まず私たちの暮らしのために使ってほしい」というのは当然の願いである。「EU諸国の防衛予算はGDPの2%だから」と言うのなら、なぜ社会保障もEU並みにすると云わないのか。ご都合主義ではないか。外努力もせずに危機を作り出し、それを煽り立て、「日本を守るためだ」と軍備を増強し、そのための増税のしわ寄せを庶民に押し付けようという自公政治の姿こそ、「新しい戦前」の姿である。ミサイルは攻撃力はあるが、日本を守るためには役に立たない。

どこかが本気で日本を攻撃するならば、兵糧攻めにすれば、食料自給率もエネルギー自給率も低い日本は、すぐにギブアップだ。憲法にもとづく近隣諸国との友好関係の構築こそが最大の安全保障ではないか。

私たちの訴えを気にしないではおられない人だけでなく、気にしないでサラッとしている人にまで届けることができるかどうかが大切になっている。

また、国会請願署名も理解してもらいやすい情勢だ。「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」とがんばってきた国賠同盟だからこそ、その先頭に立つて頑張ろうではないか。

「私たちの税金を使うなら、武器を買い込むより、まず私たちの暮らしのために使ってほしい」というのは当然の願いである。「EU諸国の防衛予算はGDPの2%だから」と言うのなら、なぜ社会保障もEU並みにすると云わないのか。ご都合主義ではないか。外努力もせずに危機を作り出し、それを煽り立て、「日本を守るためだ」と軍備を増強し、そのための増税のしわ寄せを庶民に押し付けようという自公政治の姿こそ、「新しい戦前」の姿である。ミサイルは攻撃力はあるが、日本を守るためには役に立たない。

どこかが本気で日本を攻撃するならば、兵糧攻めにすれば、食料自給率もエネルギー自給率も低い日本は、すぐにギブアップだ。憲法にもとづく近隣諸国との友好関係の構築こそが最大の安全保障ではないか。

私たちの訴えを気にしないではおられない人だけでなく、気にしないでサラッとしている人にまで届けることができるかどうかが大切になっている。

また、国会請願署名も理解してもらいやすい情勢だ。「ふたたび戦争と暗黒政治を許さない」とがんばってきた国賠同盟だからこそ、その先頭に立つて頑張ろうではないか。

岸田自公政権の「戦争する国づくり」阻止 請願署名の前進で、治安維持法犠牲者への謝罪と賠償を

1月23日第4回理事会決定

岸田自公政権は、敵基地攻撃能力を持つ、学術会議は政府が任命、大学や研究機関には、軍事研究の強制などを閣議決定し、アメリカに行き、日米一体の作戦の強化を約束。岸田自公政権では、国も国民も守れません。

岸田自公政権打倒、憲法の原点に立ち不戦の政府実現に力を尽くしましょう。

45回大会の具体化

①会員拡大は5カ年計画で、都同盟1500人をめざします。そのため都本部は、毎年40人、月4人拡大へ、各支部は、月1行動、1人以上の前進をはかりましょう。②50周年に向けた支部計画書を作る。

会員拡大

12月は港支部1人、八王子支部1人の2人で、1323人。
「千代子」映画鑑賞者から具体的対象をあげる。学習会、ビデオを観る会、見学会などを組織し、参加者に入会を呼びかけましょう。

支部建設

「千代子」上映運動とともに支部建設を進めます。台東支部、文京支部

2022年度会費100%納入で都財政確立を

都本部財政基盤確立の1300人は達成しました。年度末に全支部100%納入で財政の健全化をはかりましょう。
会費は、12月末現在69・3%、80%以上の支部は8支部です。2月、未納者に請求書を出し、前進させましょう。

部で準備しています。
空白を埋める取り組みは、上映運動と結びつけてすすみましょう。

「千代子」上映会

第3次(統一地方選挙後) 上映運動で空白地域を埋めるとりくみをすすめ、積極的に会員拡大に結びつけましょう。

会議・行事日程

2月5日(日) 午後1時半
春を呼ぶ集い

お話 四津谷伸子、斎藤久枝さん
板橋グリーンホール503会議室
2月9日(木) 午後1時半
三役会議

2月20日(月) 午後1時半
理事会

いずれも文京区男女平等センター

都本部の活動日誌

1月12日 三役会議

1月14日 日本共産党都委員会訪問

1月17日 多喜一祭実行委員会

1月21日 国際女性デー実行委員会

1月23日 東京母親大会実行委員会

1月30日 大軍拡反対街宣と署名

幾山河

映画「わが青春つきるとも」製作・上映に関わり早3年。貴重な経験の連続で、資金集めは当初、気が遠くなる思いだった▼原作者の藤田氏が全国に飛び講演。実行委員会が立ち上がり10万円の債権購入を積み上げた。県段階で実行委員会を作った地域は、全県の自治体で上映会をとり組んだ▼コロナ蔓延中だったが、キャストが決定。記者会見で撮影開始宣言と全国交流をリモートで行った。若い俳優たちは藤田氏の講義を聞き勉強。その緊張感は実に気合が入り感動した。一人の女優が私に「この映画に出させてもらえることは光栄です」と話してくれたことが忘れられない▼予定より一年遅れで撮影に入った21年10月、エキストラ集めに協力。ついでに出演もした▼公開されると大評判。私も直接4つの実行委員会に関わり苦労したが、全国で7万5千人が鑑賞▼「字幕を入れて」という要望にも応えて、第三次上映運動が始まる。若者はじめ、広い層の中に知らせる困難はうち破りながらみんなで頑張ろう。
(風)

日韓ナ禍の紙上活動交流 27

岸田内閣の大軍拡、大増税に

反対する署名行動

都本部 中嶋育雄

1月30日、JR御茶ノ水駅で13時まで「敵基地攻撃は戦争への道」の横断幕をかけた、街頭宣伝と岸田内閣の大軍拡、大増税に反対する署名行動を行いました。

政府は「敵基地攻撃能力の保有」

の「安保三文書」を閣議決定。これ

は、憲法9条を持つ日本の「専守防衛」を投げ捨てるもので許されない。

「私たち同盟

は『ふたたび戦争と暗黒政治を許さない』を基本に活動しており、岸田首相の大軍拡、大増税は断じて許せません、皆さん今こそ一人ひとりが反対の声を署



名に託してください」と呼びかけました。

この行動には、中央と都本部から11人が参加。「中国があるが」という人には「戦争では解決しない。アジアの平和構築の中で解決することが必要」と訴えると、「まあ頑張ってくれ」と立ち去りました。署名は12筆でいつもより多く集まりました。

「治安維持法はなぜ悪法か」

荒川支部

荒川支部は「治安維持法はなぜ悪法か」と東京山宣会会長の永島民男氏を招いて講演会を企画しました。これを聞いて国民救援会の荒川支部

とりくみました。

2月4

日、荒川区男女平等センター（アクト21）では、定員30人の会場に講師を入

れてきつ

ちり30人

が参加しました。

この法律

ができた

背景と、

伊藤千代子、山宣、多喜二の活動が

縦横に話され「よくわかった」との

感想が寄せられました。

「朝鮮では、治安維持法の裁判結

果が死刑が多く、厳しかったのはな

ぜか？」と質問がありました。国体を

壊すにとどまらず、独立までめざ

していたことで、厳しくなっていた

との説明に納得。また、「集合住宅

へのピラ入力で規制が厳しいのは治



安維持法が現代も生きていて、その表れではないのか」との質問には、国民救援会の会員から、実例と対策を含めた話があり、学び合いました。

新人市議候補が入会

八王子支部

八王子支部では、都議に当選した前市議の空席を継ぐべく、活動に全力を挙げている新人候補がこのほど入会しました。

昨年、7年間の社会福祉の仕事で退職して候補者活動に入るおりに、伊藤千代子の上映会に参加。「千代子の自分らしい生き方を貫いた生涯、たくさんの仲間がいることが生きる希望なのだ、励まされた」と感想文に書いています。

かつて検察庁法改定問題でツイッタ―・デモに参加したのが、政治に目覚めるきっかけという。30代になったばかりですが、今、食糧支援の活動に立ち、戦争するを国ストップ、どんな人の人権も守る社会をつくりたいと懸念です。

八王子支部は会員である5人の候補者全員の勝利へともに奮闘したいと思えます。

**小林多喜二没後90年
追悼東京大集会-築地多喜二祭ごあんない**
 日時 2月23日14時開会
 参加費 500円(資料代)
 会場 日本橋公会堂
 日比谷線人形町駅、半蔵門線水天宮前駅から徒歩3分
 問合せ先 Tel090・4077・2282 福田まで

2月23日に「小林多喜二没後90年追悼・東京大集会」築地多喜二祭」を開催します。

主催は多喜二の終焉の地となつた築地にモニユメント設置を願う中央区内在住者や在勤者、民主・平和団体などで構成する「築地多喜二祭」実行員会。毎年夏に戦争展を開催している「平和をねがう中央区民の戦争展」実行委員会が後援します。「築地多喜二祭」と銘打って開く集会は今回が初めてです。

多喜二終焉の地に碑を

荻野富士夫先生が講演

2月23日14時の「築地多喜二祭」に参加を

「築地多喜二祭」実行委員会代表 福田和男

(千葉県本部松戸鎌ヶ谷支部)

多喜二は1933年2月20日正午過ぎ、赤坂区福吉町(現港区赤坂2丁目)界限で特高警察の手により

詩人の今村恒夫とともに逮捕され、移送先の築地警察署で凄惨な拷問の末、同日夜死亡しました(今村は同じく拷問がもとで、のちに死亡)。

多喜二29歳。小樽から上京し、プロレタリア作家及び社会変革者として本格的な活動を始めてから3年後のことでした。治安維持法が猛威をふるっていた時

代、デビュー作の『蟹工船』が不敬罪とされ、『一九二八年三月十五日』も取り調べの過酷な実態を描いたため、特高警察の怒りを掻き立てたとされています。

多喜二にとって築地は、若くして未来を閉ざされた絶望の地となりましたが、一方でプロレタリア作家同盟などの活動のためにも何度か築地小劇場を訪れて



「国賠同盟入会のすすめ」から

いたことを考えると、希望の地であったとも言えるのではないのでしょうか。

集会では小樽商科大学名誉教授で国賠同盟顧問の荻野富士夫さんが「多喜二文学の世界への広がり」と題して記念講演、国賠同盟制作の「燃やし続けた炎」も上映します。

タレントのタモリさんがテレビ番組でつぶやいた「新しい戦後になるんじゃないですか」が話題になっているように、ウクライナ戦争を口実に岸田政権による大軍拡が不安を広げています。

多喜二と多喜二の時代を思い起こすことは戦争を防ぐ大きな力になると思います。皆様の参加をお待ちしています。

川柳

植竹団扇 選

GDP増やさず軍備倍増やす

新宿区 阿部俊雄

ジェンダーがちよいと気になる宝船 府中市 稲邑明也

十代は妊娠適齢と政府

荒川区 風間秀子

軍拡へ子育て支援だしにする

八王子市 清水邦治

年明けに待っている値上げ国民

(たみ) 苦し 足立区 高橋陽子

国民に見せぬ笑顔をバイデンへ

豊島区 藤本増美

岸田さんどこを切っても戦争臭

中野区 中嶋育雄

無念だが逆の効かないこの世かな

練馬区 檜原信行

タモリに見透かされた政権の夢

団扇

【読者のみなさんの投稿歓迎】